

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月12日

計画の名称	南あわじ市次代へつなぐ持続可能な下水道の構築と長寿命化対策													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	南あわじ市													
計画の目標	公共水域の保全及び生活改善の環境のため、污水管渠整備を推進し良好な水環境を創出するとともに、汚水処理施設及び遠方監視の統廃合並びに処理場等の長寿命化対策を行うことにより、効率的かつ持続可能な下水道を構築する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		4,834	A	4,827	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0.14	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2（当初）	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を75.0%（R2）から81.0%（R6）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率（％）	75%	76%	81%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）【47,289人】			
2	津井処理区 伊加利処理区を統合、市・榎列処理区 三原志知処理区を統合、八木・榎列処理区 長田処理区を統合、灘処理区 円実、山本、吉野処理区を統合、賀集処理区 神代処理区を統合する。			
	統廃合達成率（％）	14%	42%	85%
	実施する統廃合処理区数（処理区）／計画する統廃合処理区数（処理区）【7処理区】			
3	共同管理施設（遠方監視システム）を新設し、公共9処理区を一元管理する。			
	遠方監視システム構築達成率（％）	55%	88%	100%
	構築する遠方監視システムの処理区数（処理区）／計画する遠方監視システムの処理区数（処理区）【9処理区】			
4	持続可能な下水道事業の実施を図るため、9処理区のストックマネジメント計画による計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。			
	ストックマネジメント計画による長寿命化対策実施率（％）	0%	22%	55%
	長寿命化対策を実施する処理場数（処理場）／長寿命化対策対象処理場数（処理場）【9処理場】			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	広田処理区污水管渠	污水管 φ50～φ150 L＝3,869m	南あわじ市			■	■		373		-
	A07-002	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	松帆・湊処理区污水管渠	污水管 φ50～φ150 L＝5,715m	南あわじ市	■	■	■	■		1,347		-
	A07-003	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	終末処理場	新設	松帆・湊浄化センター汚泥脱水設備	汚泥脱水機 1 台	南あわじ市	■	■				332		-
	A07-004	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	市・榎列処理区污水管渠	污水管 φ50～φ150 L＝2,811m	南あわじ市	■	■	■	■		276		-
	A07-005	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	八木・榎列処理区污水管渠	污水管 φ150 L＝976m	南あわじ市	■	■	■			89		-
	A07-006	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	賀集処理区污水管渠	污水管 φ50～φ150 L＝576m	南あわじ市			■	■		53		-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	津井処理区統廃合整備事業	圧送管φ50～φ200 L＝2,250m 圧送ポンプ5箇所	南あわじ市			■	■	■	209		策定済
		統廃合																	
	A07-008	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	市・榎列処理区統廃合整備事業	圧送管φ50～φ200 L＝520m 圧送ポンプ1箇所	南あわじ市	■	■	■	■	■	48		策定済
		統廃合																	
	A07-009	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	八木・榎列処理区統廃合整備事業	圧送管φ50～φ200 L＝190m 圧送ポンプ1箇所	南あわじ市	■	■	■	■	■	23		策定済
		統廃合																	
	A07-010	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	賀集処理区統廃合整備事業	圧送管φ50～φ200 L＝650m 圧送ポンプ1箇所	南あわじ市	■	■	■	■		64		策定済
		統廃合																	
A07-011	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	終末処理場	新設	灘処理区統廃合整備事業	水処理施設	南あわじ市	■	■				70		策定済	
	統廃合																		
A07-012	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	新設	下水道広域化推進総合事業（管理施設）	共同管理施設（遠方監視システム）構築1式	南あわじ市	■	■	■			306		策定済	
	MICS																		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-013	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	終末処理場	新設	下水道広域化推進総合事業（汚泥処理施設）	汚泥処理施設	南あわじ市	■	■	■	■	■	450		-	
		MICS																		
	A07-014	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	終末処理場	改築	下水道事業ストックマネジメント計画（9処理場）	水処理・汚泥処理設備改築	南あわじ市	■	■	■	■	■	887		策定中	
		SM																		
	A07-015	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	管渠（汚水）	改築	下水道事業ストックマネジメント計画（9処理区）	マンホールポンプ設備等改築	南あわじ市	■	■	■	■	■	100		策定中	
		SM																		
	A07-016	下水道	一般	南あわじ市	直接	南あわじ市	終末処理場	新設	福良浄化センター津波対策事業	津波対策施設	南あわじ市	■						200		-
											小計							4,827		
											合計							4,827		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	南あわじ 市	間接	個人	-	-	各戸排水設備の設置	早期接続者奨励金交付	南あわじ市	■	■	■	■		7		-	
		污水管渠の整備と一体的に実施することで、下水道接続率の向上を図る。																		
												小計						7		
											合計						7			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当よりデータ提供を受け、計画担当において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その結果に至った要因分析を行った。	令和7年9月末
	公表の方法
	市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備により、安全・安心・快適な暮らしを実現できる人口が増えた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	効率的な整備を進め早期水洗化を図ったことで環境保全・公衆衛生に関心を持つ市民が増えた。
○特記事項（今後の方針等）	
今後も新たな社会資本整備総合計画【南あわじ市次代へつなく持続可能な下水道の構築と長寿命化対策(その2) 期間R7～R11】により、公共水域の保全及び生活環境の改善を図る。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	81%	目標の数値まで達成することができ、汚水処理人口の普及が図られた。
	最 終 実績値	84%	
2			
	最 終 目標値	85%	汚水管渠の整備を優先で行ったため、5 処理区の目標が3 処理区の進捗に留まった。
	最 終 実績値	42%	
3			
	最 終 目標値	100%	目標の数値まで達成することができ、公共9 処理区の一元管理が図られた。
	最 終 実績値	100%	
4			
	最 終 目標値	55%	汚水管渠の整備を優先で行ったため、9 処理場の目標が3 処理場の進捗に留まった。
	最 終 実績値	33%	